学校法人 兵庫医科大学

広報

兵庫医科大学 兵庫医療大学

2015年10月号
vol. 232

特集

４学部合同「チーム医療演習」

～医療総合大学ならではの、より実践的な授業～

特集

医療総合大学ならではの、より実践的な授業

4学部合同「チーム医療演習」

社会の高齢化が進み、医療へのニーズも多様化する中、医療専門職者がお互いの専門性を尊重し合いながら患者さんの生命の尊厳、QOL（生活の質）向上をめざす「チーム医療」。学校法人兵庫医科大学では、医療総合大学としての特徴と環境を活かしながら、「チーム医療」を実践できる医療人の育成に力を入れています。

兵庫医科大学と兵庫医療大学が連携して実施

平成２７年９月７～１１日、兵庫医科大学の３年次生（医学部１０８名）と兵庫医療大学の４年次生（薬学部、看護学部、リハビリテーション学部 計３１８名）が西宮キャンパスに集まり、「チーム医療演習」を実施しました。

この授業は、医療職種間の相互理解を深めるとともに、「チーム医療」を駆使して患者さんの問題を解決する能力を身につけることを目的としています。学生たちは、学部混成の６～７人単位のグループ（計６４組）に分かれ、医療チーム内における自分の役割や医療従事者同士のコミュニケーションの重要性を理解しながら、「チーム医療」について意識を高めました。

チーム医療演習の行動目標

- チーム医療の目標を説明できる
- チームを総括し、わかりやすいプレゼンテーションができる
- チーム医療の構成員とコミュニケーションができる
- 症例に対して医療職種ごとに問題点を明確化し、自身の役割と仕事を説明できる
- 医療過程（予防、診断、治療、リハビリテーション）に関わる職種を列挙できる
- 問題解決のため、適切な情報を自ら検索・収集することができる
- 各医療職種の専門性、役割および責任を説明できる
- チーム医療の立場から医療を考え、問題解決ができる
- チーム医療における患者さんや患者さんのご家族の役割を説明できる

チーム医療演習の主なプログラム

１日目：ガイダンス、アイスブレイク、IRAT（個人試験）、GRAT（グループ試験）、フィードバック、グループ討議
２日目：兵庫医療大学 藤岡副学長／看護部 丸山次長による特別講演
３日目：グループ討議、発表準備
４日目：発表会
５日目：症例解説フィードバック、模擬カンファレンス、試験、試験解説講義、全体講評、まとめ

兵庫医療大学
藤岡副学長特別講演

看護部 丸山次長特別講演

チーム力を育むＴＢＬ学習

チーム医療演習を始めて６年目となる今年、学習の柱として、TBL（Team-based Learning：チーム基盤型学習）と呼ばれる課題を用いた学習方法を導入しました。この授業では、個人学習（予習）・グループ学習・全体などの多様な形式をとっており、まず予習資料を配付し、その内容についてしっかりと理解しているかどうかのテストを個人・グループそれぞれで行い、そのうえで症例シナリオについてグループで討議するというものです。

各チームに与えられた想定症例

症例シナリオＡ
68歳 女性　主訴：上腹部痛
現病歴：1年ほど前から軽度の腹部膨満感を自覚していた。入院当日の午後1時、突然の上腹部痛を認め、近医受診、超音波検査にて肝腫瘍および腹水を指摘され、午後４時半当院救急外来へ救急搬送された。

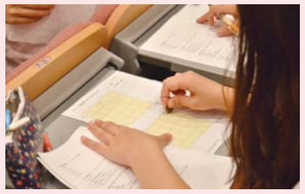
症例シナリオＢ
55歳 男性　主訴：発熱、体重減少、意識混濁
現病歴：半年ほど前から次第に体重減少あり（5kg／3ヶ月）。10日ほど前から発熱・頭痛が出現。感冒薬を内服したが、症状は改善せず、3日前から会社を休んで療養していたが、次第に意識が混濁してきたため入院となった。

学生たちは、チームに与えられた症例シナリオに基づいて課題や問題点を見つけ出し、その解決に必要な情報・知識を収集しながら、互いに議論して解決方法を探します。このような体験の中で、お互いの専門性を認識・尊重しながら、一緒に問題解決に取り組む姿勢を学んでいくのです。

学部を超えた少人数のグループに分かれた学生たちは、はじめこそ緊張している様子でしたが、課題となる症例シナリオをもとに意見を交わしたり、一緒に文献を調べたりするうちに徐々に打ち解け、熱心に議論する姿が見られました。

症例検討の流れ

ガイダンス～アイスブレイク


IRAT（個人試験）、GRAT（グループ試験）
※スクラッチ方式による小テスト

グループ討議

発表準備

発表会

模擬カンファレンス

模擬カンファレンス

本年度からの新しい取り組みとして、最終日に模擬カンファレンスが行われました。これは、兵庫医科大学病院で実際に勤務している医療専門職者が集まり、学生に課題として与えられた症例シナリオをもとにカンファレンスのデモンストレーションを行うものです。学生たちは、自分が取り組んだものと同じ症例についてのカンファレンスを聞き、自分たちが目指すべきレベルを実感するとともに、良い刺激を受けていたようです。

グループ18に密着!!

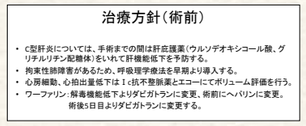
明るく話しやすい雰囲気のとっても良いチームでした！

◎ 注目・議論した点（症例シナリオA）

○C型肝炎、不整脈、喫煙歴などを考慮したうえで、手術に踏み切るかどうか
○腹水のコントロールなど、術前・術後の管理をどのように行うか
○合併症の治療などを含めた肝腫瘍切除手術後の治療方針　など

◎ 発表骨子

肝細胞がんの切除手術を優先して行い、外科的治療が落ち着き次第、C型肝炎のウイルス排除を行う方針を立てた。心房細動や術後合併症にも留意しながら、クリティカルパスに基づき、呼吸訓練や禁煙指導なども術前より行っていく。



◎ 感想

医師以外の人がどのように医療を学び、現場でどのようなことを行っているかがよく分かりました。
医学部3年次　橋本 隆志さん

それぞれの分野ごとに、見ている視点が異なっていることが理解できました。他学部生の質問に答えるのは難しかったです。
医学部3年次　迫 恒志さん

自分の分野ではプロフェッショナルであるよう努めました。自分の意見や理解を他職種の人に説明するのが難しかったです。
薬学部4年次　岡田 佳奈さん

普段とは異なる状況でとまどいもありましたが、他職種の専門に触れることができて、良い刺激になりました。
薬学部4年次 尾崎 友基さん

さまざまな視野で多角的に物事を見る必要があるので難しかったですが、看護以外の視点から見ることができ、新鮮でした。
看護学部4年次 栗林 美憂さん

自分１人では気付かないような点を指摘し合うことができ、問題解決に向けてあらゆる面から考えることができて良かったです。
リハビリテーション学部 理学療法学科4年次 堂垣 奈津香さん

最初は緊張しましたが、患者さんの「生活のしやすさ」を重視して、チームのメンバーと方向性が同じになることを心がけました。
リハビリテーション学部 作業療法学科4年次 古村 茜さん

『科目担当教員からのメッセージ』

チーム医療に求められるもの　～チーム医療演習総括～

兵庫医科大学 副学長／医学教育センター長 鈴木 敬一郎

医療というのは、病気を治すことだけではありません。ＱＯＬ（生活の質）の向上はもちろん、患者さんに希望や生きがい、安らぎを与えるということも必要になってきます。

急性期だけではなく、慢性期の医療やリハビリテーション、施設での医療、在宅ケア、そして看取りと遺族のケア、また、出生前診断や遺伝子診断、病気の予防や生活習慣の改善など、人生すべての時間軸に医療が関わります。そうなると、当然医師１人で受け持つことはできませんし、薬剤師、看護師、リハビリテーションの療法士などすべての人たちが力を合わせないと、この長い時間軸で医療をカバーすることはできません。「患者さん中心の医療」を推進するためには「チーム医療」が不可欠なのです。

チーム医療とは、業務分担ではなく、お互いが連携し合い、相互に影響し合うことが重要です。今回の演習は、チーム医療の質を向上させるための「きっかけ」にすぎません。たった１週間ですので、楽しかったかもしれません。しかし、現場では難しい問題が待っています。その時にこの演習を思い出してください。医療にはさまざまな視点があること、医療従事者の横のつながりが大切であるということを、しっかりと心に留めておいてください。そしてこれから、プロフェッショナルとして道を歩む際には、自分の職業に自信を持って頑張っていただきたいと思います。

４学部合同授業で学ぶ意義　～医・薬・看護・リハビリテーション～

兵庫医療大学 副学長 末廣 謙

この「チーム医療演習」は、医学部３年次生と薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の４年次生が合同で小グループを形成し、症例検討をする教育プログラムですが、看護およびリハビリテーション学部生は卒業目前で臨床実習を経験しているのに対し、医学部生と薬学部生は臨床系科目を座学で学修した段階と臨床経験に差があります。このような４学部生がともに学び交流することによって、互いに刺激を与え合い、学修モチベーションを高める教育効果が得られます。加えて、看護とリハビリに関しては、実際に医療職に就いたときの状況をわずかではありますが体験し自覚してもらう効果もあると考えております。

１年次で行った４学部合同授業「早期臨床体験実習（合同チュートリアル）」と比較して、今回の演習はどのように変化したかと参加学生に聞いたところ、「１年次に比べ、チームで実践する臨床医学をより現実的に見ることができた」と言います。また、「４学部合同授業は、ぜひ毎学年次で実施してほしい」といった希望も聞かれました。今後の課題として新たな教育システムを計画し、実施していきたいと思います。

成果につながる新しい取り組み　～進化するチーム医療演習～

兵庫医科大学 医学教育センター 教授 成瀬 均

今年の「チーム医療演習」では、これまでのチュートリアル形式によるグループワークではなく、他の授業で好評であった「ＴＢＬ形式（Ｐ．０３チーム力を育むＴＢＬ学習 参照）」を試験的に導入しました。これにより、ほぼ全員が事前学修を行ったうえで授業に挑み、初日から症例に関して深く議論をすることが可能となりました。実習中は、他分野を専攻する学生から自身の専門分野等に関して質疑されるケースも少なくなく、しっかりしなければという意識が芽生え、責任感を持ち取り組む姿が見られるなど、参加学生がさらに能動的に取り組めていたと実感しています。また、初めて実施した現役の医療職者による模擬カンファレンスも好評で、学生は自分たちと現場のレベルの違いに良い刺激を受けていたようです。

この授業は今回で６回目を迎えましたが、どのようにすれば学生により理解をしてもらえるのかを考えて、毎年、両大学の教員が協力しながら改良を重ねています。授業開講時から関わっている私にとって思い入れの強い授業でもあり、今後もさらに良質な医療人育成のためにがんばっていきたいと思います。

学校法人 兵庫医科大学
広報
vol.232/2015年10月号

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

INDEX　－ 目次 －

特 集　…1
医療総合大学ならではの、より実践的な授業
４学部合同「チーム医療演習」

Campus News　…7
・平成２７年度入学生・在学生特別奨学生証授与式
・涼しげな「フラダンス」で患者さんに癒しの時間を提供
・兵庫医科大学 オープンキャンパス
・善本主任教授（免疫学）と越久主任教授（生理学）が記者会見でそれぞれの研究成果を発表
・「地域包括ケア病床」と「回復期リハビリテーション病棟」を設置
・汕頭大学医学院留学生・リエカ大学留学生の受け入れ
・兵庫医療大学 オープンキャンパス
・第１６回ささやま老人保健施設 納涼祭を開催
・地域枠推薦入学１年次生が、地域医療を学ぶために丹波市を訪問
・豪・アデレード大学看護学部学術交換留学プログラムを実施！
・高校生対象 兵庫医科大学病院見学会イベントを初開催！
・新教育研究棟の工事に伴い、精神科が移転
・「第３５回 国内医科大学視察と討論の会」を開催

The Professional ザ・プロフェッショナル　…12
安全で円滑な手術のために ～手術看護認定看護師として～
兵庫医科大学病院 看護部 手術センター 米田 弥里

卒業生の今　…13
患者さんとともに歩んでいく兵庫医療大学出身の理学療法士
笠井 健一さん

気になる授業　…15
兵庫医科大学・兵庫医療大学の「早期臨床体験実習」

チームの力　…17
～こころと身体をつなぐ～ 兵庫医科大学病院 精神科リエゾンチーム

知ってる？兵庫医療大学　…17
兵庫医療大学のシンボル「ふくろう」に込められた想い

CLUB 課外活動紹介　…18

就任関連　…19

表彰および受賞紹介　…20

人事情報　…21

開学40周年記念事業募金／兵医・萌えの会 状況報告　…22

報道機関への出演・掲載　…23

Campus News

平成２７年度 入学生・在学生特別奨学生証授与式

平成２７年７月１０日、平成２７年度入学生特別奨学金の奨学生６名に対して、馬場学長から奨学生証と記念品が授与され、「何事も率先して取り組み、在学生の手本となるような活躍を期待しています」との言葉が贈られました。また、平成２７年度在学生特別奨学金の奨学生６７名に対しては、各学部において奨学生証と記念品が授与されました。

奨学生には、各学部の代表として、勉学とともに各種大学行事においても活躍されることを期待します。

※この奨学金制度は、入試成績上位者に対して初年度学費を全額免除するもの（次年度以降も成績上位を維持すれば継続して全額免除）と、2年次以降の在学生に対して、各学部各学年の成績上位者を在学生奨学生として認定し、その年度の学費を半額免除するものです。

入学生特別奨学生

涼しげな「フラダンス」で患者さんに癒しの時間を提供

患者サービス向上の一環として、患者さんやそのご家族に“癒しの時間と環境”を提供するため、平成２７年８月１日、１号館の１階ロビーにて「サマーコンサート」を開催しました。

今年は、日本フラダンス協会認定講師のカピオラニ吉田千恵さん率いるHula O Kapiolani（フラ オ カピオラニ）の皆さんをゲストに招き、南国ムード漂うフラダンスを披露していただきました。患者さんも一緒にダンスを練習するなど、涼やかな夏のひと時を楽しみました。

患者さんもフラダンスに挑戦

善本主任教授（免疫学）と越久主任教授（生理学）が記者会見でそれぞれの研究成果を発表

免疫学講座 善本 知広 主任教授らの研究グループが、ＰＭ２．５の大部分を占める「ディーゼル排気微粒子」（ディーゼルエンジンの排気ガスに含まれる微粒子）がアレルギー性鼻炎を悪化させるメカニズムについて明らかにし、平成２７年８月５日に記者会見を行いました。本研究では、アレルギー性鼻炎を予防する薬剤と薬剤のスクリーニング法も開発。このスクリーニング法はアレルギー性鼻炎に留まらず、ディーゼル排気微粒子が原因となって発症する呼吸器疾患（喘息や慢性閉塞性肺疾患など）や皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）、神経疾患、循環器疾患などに対しても効果が期待されます。

また、生理学講座 生体機能部門 越久 仁敬 主任教授が「嚥下反射が鈍化している患者さんの嚥下をスムーズにする方法」を新たに発明し、８月３１日に記者会見を行いました。これまで、低周波の電流によるリハビリ治療が嚥下筋の筋力低下に有効であることは知られていましたが、電流を流す際に“痛み”や“違和感”を伴う問題がありました。その問題を解消すべく、筋肉ではなく神経に対して微弱電流を“干渉”させることによって、痛みや違和感なく嚥下反射を起こりやすくする方法を発明。現在は、この発明をもとに、企業と共同して「干渉電流型低周波治療器」の開発を行っています。

どちらの記者会見にもマスコミ関係者が多数出席し、複数の新聞やＷＥＢなどに記事が掲載されました。

どちらの会見もマスコミ複数社が取材に訪れました

～模擬授業、シミュレーター体験と今年も大盛況～ 兵庫医科大学 オープンキャンパス

兵庫医科大学を目指す受験生や保護者の皆さんにもっと大学のことを知ってもらおうと、今年も８月２日と１８日の２日間、オープンキャンパスを開催しました。

大学の概要や入試説明はもちろん、模擬授業やシミュレーター体験、キャンパス見学、学生との交流など、内容は盛りだくさん。両日とも太陽が照りつける厳しい暑さの中、合計５６６人の方にご参加いただきました。

参加者からは「模擬授業が面白い！医学への関心がさらに高まった」「模擬採血をしたり、心臓の音を聞いたり、とても貴重な経験をした」といった感想が寄せられ、充実した１日を過ごされたようです。

今後も、入試説明会をはじめ、さまざまな方法で受験生や保護者の皆さんに本学の魅力を発信していきます。

今年もたくさんの人が参加

初めてのDMATに興味津々

自分で血管を探し、針を刺していざ採血に挑戦

真剣さと楽しさを兼ね備えたシミュレーター体験

「地域包括ケア病床」と「回復期リハビリテーション病棟」を設置

ささやま医療センターでは、厚生労働省が掲げている「地域包括ケアシステム」を推進すべく、既存の病床や病棟を活用して、７月に「地域包括ケア病床」を、８月に「回復期リハビリテーション病棟」を設置しました。回復期リハビリテーション病棟を設置するのは、本センターが丹波地区で初めてです。

訪問看護ステーションを新たに始める予定もあり、今後は、発症から在宅療養までを一貫してサポートし、さらに地域に根差した病院をめざしていきます。

リハ活用で復帰後押し

「回復期リハ」は丹波初

新病棟、病床を設置

「幅広い医師の養成にも」

丹波新聞

篠山版

丹波新聞社

丹波新聞 2015年（平成27年）8月9日（日曜日） 第7532号

丹波新聞や毎日新聞などに記事が掲載されました！

～世界の医学生の国際的な視点・視野の広がりに一役～ 汕頭（すわとう）大学医学院留学生・リエカ大学留学生の受け入れ

社会のグローバル化に伴い、学際的な国際交流の領域は広がりを見せています。兵庫医科大学もその役割を担おうと毎年海外からの留学生を受け入れており、7月１３日から8月7日の期間に「中国汕頭大学医学院」から３名、8月24日から9月18日の期間に「クロアチア共和国リエカ大学」から３名の留学生を受け入れました。

留学生たちは、胸部腫瘍学、上部消化管外科学、内科学血液内科などで実習を行い、最終日に「先生方や学生さんのサポートのおかげで、日本での実習・生活はとても充実した有意義なものになりました」「交換留学プログラムを通して、視野が大きく広がり、さらに上を目指したいと思うようになりました」などと感想を述べていました。

リエカ大学留学生

汕頭大学医学院留学生

～開学以来、最多の来場者数を記録！～
兵庫医療大学オープンキャンパス

平成２７年８月８・９日、２２・２３日にオープンキャンパスを開催しました。４日間で高校生２，１５８人、同伴者１，１７３人の合わせて３，３３１人が訪れ、開学以来、最多の参加者数を記録しました。

兵庫医療大学ならではの特長を中心に説明を行う「大学全体ガイダンス」では、会場のオクタホールが連日満員に。各学部学科のイベント会場においては、実習室で在学生と一緒に行う体験実習、図書館や実習室などの施設を回るキャンパスツアーなどを実施しました。また、岡山からの無料送迎バスツアーも初めて実施しました。

参加者からは「在学生が親切で、体験実習がとても楽しかった」「先輩がやさしく、学生生活、受験のことなど話してくださり、とてもためになりました」「チーム医療の授業があり、総合的に医療が学べることがとても魅力的でした」という声が聞かれました。

次回行う高校生対象イベントは、１１月の入試対策講座です。こちらもご期待ください。

日替わり特別イベントも好評でした！
- ８／８（土）　クラブ・サークル紹介
- ８／９（日）　卒業生トークイベント
- ８／２２（土）　チーム医療特別講義
- ８／２３（日）　入試対策講座（英語）

薬学部　体験実習

看護学部　体験実習

理学療法学科　体験実習

作業療法学科　体験実習

地域枠推薦入学１年次生が、地域医療を学ぶために丹波市を訪問

平成２７年８月２１・２２日の２日間、１年次生６名が、地域医療を学ぶために丹波市を訪れました。これは、「地域医療特別演習Ⅰ」というカリキュラムの一環として、１年次生 地域枠推薦入学学生を対象に、平成２２年度より行われている実習です。

市内の特別養護老人ホーム、養護老人ホームの往診、和久医院での外来診療および薬局、里皮フ科クリニックの診療など、さまざまな医療現場を見学したり、医師をはじめとした医療職者の話を聞いたりすることで、地域医療の意義や課題についての理解を深めました。

第１６回ささやま老人保健施設 納涼祭を開催

平成２７年８月２２日、第１６回ささやま老人保健施設の納涼祭が開催されました。篠山産業高校吹奏楽部の演奏から始まり、新家理事長、太城施設長の挨拶の後は、屋台での食事や輪投げ・ヨーヨー釣りなどの職員による出し物が行われました。その他にも、地元の岡野太鼓の皆さんによる迫力ある演奏、利用者と家族の皆さんとの手遊び、東雲高校の生徒によるこけ玉つくりのワークショップなど、さまざまなイベントが行われ、参加した方々は大いに楽しまれたようです。最後に、今年日本遺産に認定されたデカンショ音頭を踊り、祭りはにぎやかに終了しました。

日本遺産に認定されたデカンショ音頭

～オーストラリアの名門国立大学へ看護留学～
豪・アデレード大学看護学部 学術交換留学プログラムを実施！

平成２７年８月１５日から９月５日までの約３週間、看護学部生１２名が参加して、兵庫医療大学が学術交流協定を結ぶオーストラリアの国立アデレード大学にて、学術交換留学プログラムを実施しました。

現地ではアデレード大学看護学部での講義や演習をはじめ、隣接するアデレード大学病院での研修などを受けました。その中で、山火事が多いオーストラリアの特徴的な医療・看護として、ドクターヘリに帯同する救急搬送の専門看護師の働きや火傷看護について学んだほか、スキューバダイビングなどにみられる潜水病を治療する高圧酸素療法など、先進的でオーストラリアならではの治療について学ぶことができました。

さらに、アボリジニなどの先住民族を含めた多民族が暮らすオーストラリアで必要な看護とは何かについても教わりました。

滞在中はホストファミリー宅で水を大切にする生活を体験するとともに、伝統的なダンスであるブッシュダンスパーティーに参加するなど、オーストラリアの生活や文化にも数多く触れることができました。

来年２月には、アデレード大学の看護学部生が本学へ留学する予定になっています。

今年の留学メンバー

アデレード大学付属病院での見学実習

伝統のブッシュダンス

～大学病院ならではの医療現場を体感～
高校生対象 兵庫医科大学病院見学会イベントを初開催！

平成２７年８月１５日、看護職をめざす高校生対象の「兵庫医科大学病院見学会」を、兵庫医療大学 看護学部主催、兵庫医科大学病院 看護部協力のもと、初めて開催しました。

このイベントは、重要医療拠点として数々の指定を受けている大学病院にて、高校生に実際の医療現場を見学してもらうことで、今後一層看護職を志す意識を高めてもらいたいという思いと、その学ぶ過程において、兵庫医療大学や兵庫医科大学病院の教育・実習環境、そしてその後の就職までに至る総合的なサポート体制についても知ってほしいという思いから実現したものです。

冒頭には、難波病院長から高校生に向けて、これから看護職を目指すにあたってのメッセージが贈られました。パネルトークでは、現在兵庫医科大学病院で勤務する兵庫医療大学 看護学部や大学院を卒業した卒業生５人に登壇いただき、部署ごとに異なる仕事内容や専門看護師などについて説明しました。病院見学では、普段はめったに入ることのできない急性医療総合センターや病棟を訪れることができ、参加した高校生は大いに刺激を受けたようです。

卒業生による、看護師の仕事紹介

卒業生の引率で病棟へ

急性医療総合センターも見学

新教育研究棟の工事に伴い、精神科が移転

新教育研究棟の建設に向けて、着々と工事が進行しています。８月３１日からは、６号館の解体工事が行われました。これに伴い、６号館に入っていた精神科外来は８号館１階へ、精神科病棟は８号館２階に移転しています。

医科大

８０年に一度の当番校に。全国の医学教育関係者が西宮に集結！

「第３５回 国内医科大学視察と討論の会」を開催

平成２７年９月１０日・１１日の２日間、公益財団法人 医学教育振興財団主催の「第３５回 国内医科大学視察と討論の会」を兵庫医科大学で開催し、医学部を擁する全国の６３大学８７名、文部科学省および公益財団関係者１９名、本法人から１６名の、計１２２名が出席しました。

初日は「建学の精神とリサーチマインドを涵養するカリキュラム」（兵庫医科大学 鈴木副学長）、「医科大学・医療大学連携による４学部合同チーム医療教育」（兵庫医療大学 末廣副学長）、「グローバルに活躍する人材育成を目指した教育」（兵庫医科大学 三輪国際交流センター長）、「教育技法の改善：チーム基盤型学習の導入」（兵庫医科大学 医学教育学 成瀬教授）という４テーマについて講演を実施。その後、出席者がそれぞれ興味を持ったテーマの部屋に移動して、本学学生との懇談を楽しみました。

２日目は、中西学長が「兵庫医科大学の歩み：地域への貢献と研究」と題した特別講演を行った後、出席者と教員との総合討論を行い、熱い議論が交わされました。閉会の挨拶では、公益財団法人 医学教育振興財団の小川理事長より「今まで国内視察の会へは何度も参加しておりますが、今回の兵庫医科大学での会は、大変特色があり、また網羅的であったと思います。大震災における救急医療の現場紹介やアスベスト問題のリサーチなどを学生に示して語り継いでいっていること、地域医療に非常に力を入れていること、兵庫医科大学と兵庫医療大学とが連携してチーム医療教育を行っていること、国際交流や英語力向上に取り組んでいること、そしてＴＢＬなどアクティブラーニングを実践していることなど、すばらしい特色を紹介していただき、非常に実りのある会となりました」とお褒めの言葉を頂きました。また、閉会後には急性医療総合センターの施設見学会も行いました。

開会の挨拶をする公益財団法人
医学教育振興財団 小川理事長

懇談の場で学生から生の声を聞く
出席者の皆さん

特別講演で兵庫医科大学の歩みや
特徴を語る中西学長

討論の場では、出席者から教員に対して
次々と質問が寄せられた

特別講演で、建学の精神とリサーチマインドを涵養する
プログラムについて紹介する鈴木副学長

見学希望の方に、急性医療総合センターを
案内する太城副理事長

The Professional
ザ・プロフェッショナル

安全で円滑な手術のために

～手術看護認定看護師として～

兵庫医科大学病院
看護部
手術センター
米田 弥里

兵庫医科大学病院の手術センターでは、先進医療を含むすべての専門科の手術、年間約1万件を行っている。それらの手術において、医療チームの一員として、また、新生児から高齢者までさまざまな不安や社会背景を持つ患者さんの代弁者として、手術が安全かつ円滑に進むよう管理しているのが手術室看護師だ。

母の姿にあこがれて看護師に

看護師になった1年目から兵庫医科大学病院の手術室看護師として働いている。

母も看護師だった。患者さんに明るく接するその姿にあこがれて、看護師を志すようになったという。「後輩の看護師さんからもすごく頼りにされていたし、人のためにイキイキと働いている母の姿を見て、私も頑張ってみようと思ったんです」。

１４の手術室がある兵庫医科大学病院の手術センターでは、現在５０人の看護師が働いている。その業務は「器械出し」と「外回り」の大きく２つに分かれており、器械出し看護師は、手術に使用する器材・器械の準備や手術の進行に合わせて器械を手渡すことで医師を補助する仕事を、外回り看護師は、麻酔導入の介助のほか、必要な医療機器の準備や術中のバイタルサインの変動に気を配るなど、患者さんが手術室に入ってから出るまでの看護を担っている。

手術室看護師に求められること

手術室看護師には、手術を安全で安心、かつ円滑に進めるための高いスキルが求められる。器械の使用用途や特殊性を把握することはもちろんのこと、解剖学の知識や手術の流れを把握し予測する力なども必要だ。

手術によっては６時間以上かかるものもあり、一つ手術が終わると、どっと疲れることもあるという。「患者さんに無事にお部屋へ戻ってもらうためには、手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理が大切です。常に集中力を切らさないようにしなければいけません」。そのほか、執刀医や麻酔科医、臨床工学技士などと緊密な連携を図ったり、限られた時間で患者さんに安心感を与えたりするためのコミュニケーション能力や、急変時などの緊急対応での判断力も必要だという。

認定看護師としての想い

２０１４年、手術看護認定看護師の資格を取得した。これまでの経験を自ら問い直す意味と、後輩たちへの新たな指導方法を探りたいという期待を込めての挑戦だった。そこでリーダーシップやマネジメントについても学び、全体を見渡すことの大切さを改めて感じたという。「患者さんと接する時間が短いので、手術室看護師は仕事の最終的な結果を見ることができず、やりがいを見出せないことも少なくありません。認定看護師になって、皆がやりがいを感じながら働ける環境を作るために、行動を起こしてみようと考えるようになりました」。

まずは「手術室看護について、いろいろな方に知っていただきたい」という。「病棟看護師や地域の医療機関などに手術室看護についてもっと知っていただき、情報共有を進められたら、患者さんの背景について考えることができ、周術期における継続看護の実践にも繋がると思うんです」。認定看護師になってからは、病棟の看護師などから「手術室の看護について知りたい」と勉強会の依頼も来るようになった。「そういうオファーをいただけるのはありがたいですね。いろいろなところで関わりを増やしていけたらいいな。いろいろなことに取り組みながら、認定看護師としてできることを見出していきたいと思います」。

卒業生の今

～第一線で活躍する卒業生～

患者さんとともに歩んでいく 兵庫医療大学出身の理学療法士

KEN'ICHI KASAI

笠井（かさい） 健一（けんいち）さん

- 学科　兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科
- 卒業年　平成２６年３月卒業
- 勤務先　パナソニック健康保険組合 松下記念病院 リハビリテーション科

“お世話になった恩を返したい” その想いで理学療法士の道へ

小学生の頃から野球部に所属していた笠井氏は、試合や練習で肩を痛めることが多く、病院で理学療法士の先生にお世話になる頻度も高かったそうだ。元々、人の役に立つことができる医療職に興味があったが、高校３年生で進路について真剣に考えた際、「理学療法と理学療法士の先生のおかげで何度もケガから回復できた。今度は自分が誰かを回復させる立場になって恩返しがしたい」と、理学療法士になることを決意。兵庫県在住の従兄弟の勧めもあり、地元である香川県を出て、兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科へ入学した。

今だからこそ分かる、 “触診”技術を磨くことの重要さ

学生時代で最も印象に残っているのは、１年次後期に行われた「体表解剖学実習」。学生同士がペアになり、筋肉や骨の組成等をお互いの体で確かめたり、“触診”をしたりする授業だ。当時は、先生の指導が厳しいと感じたこともあったそうだが、現在、病院に実習に来ている他大学の学生と兵庫医療大学生を比較すると、その技術レベルに大きな差が見られたという。「臨床現場ではっきりと差がついてしまう触診だからこそ、確実に技術が身に付くように、懇切丁寧に指導してくださっていたのだと気付き、ありがたみを感じました」。

現在は、主に内部疾患を抱えた方を担当。 「本音」を引き出し、一緒に回復をめざす

笠井氏は、理学療法士として働き始めて現在2年目。先輩と二人で、心臓や呼吸器などの内部疾患を抱えた患者さんを担当している。特に、心臓疾患によって運動能力が低下している方に対して、より良い社会生活が送れるよう、運動方法の指導や生活指導を行っている。患者さんとの理想の関係は、“本音を言ってもらえる間柄”。そのような関係を築くため、気さくに接することを心がけているそうだ。「相手の患者さんにもよりますが、リハビリテーション室内でも室外でも、姿を見かけたら積極的に声をかけますね。フレンドリーに話しているうちに、本心を打ち明けてくれるようになることが大半です」。明るく人懐っこいキャラクターだからこそ、なし得る業でもあるのだろう。

また、リハビリテーションの主体はあくまでも患者さん側にある、と笠井氏は話す。時にはリードすることも必要だが、患者さんのリハビリに対するモチベーションが上がるようにと、会話量や言葉選びに留意。患者さんの意欲を感じて、ともに回復に向けて歩んでいきたいと考えている。

常に学習する姿勢を忘れず、 幅広い視野から物事を見る理学療法士に

仕事が充実している様子が目に見えて伝わってくる笠井氏。「理学療法士としては、まだまだ若手。勉強するべきことが山のようにあると痛感しています」。院内では、理学療法士や他の医療職が集まって、定期的に勉強会を開いている。「理学療法を行うことで、歩けなかった人が歩けるようになるといったように、患者さんの回復が目に見えやすい分野だからこそ、やりがいを感じる瞬間は多いです」。

今後は、医学的視野も含め、幅広い視野で物事を判断できる理学療法士を目指したいとのこと。兵庫医療大学卒業生のさらなる活躍に期待したい。

気になる 授業

兵庫医科大学・兵庫医療大学の
魅力たっぷりの授業をご紹介します！

1年次「早期臨床体験実習」

早期臨床体験実習（Early Clinical Exposure）は、医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部に入学したばかりの学生が、兵庫医科大学病院にて実際に医療現場を体験する実習です。この実習を通して、医療人としての自覚を持ち、医療人への理解をさらに深めてもらうことを目的としています。また、4学部合同による演習もこの授業内で実施します。

兵庫医科大学（医学部）体験実習

実施場所は兵庫医科大学病院!!

1日目：オリエンテーション

兵庫医科大学病院の概要や、実習中に指導を受ける看護師の業務などについて看護部長より説明を受けるほか、病院実習にふさわしい身だしなみについて確認します。

2・3日目：病棟実習

1グループ5～6人ごとで病棟に向かい、検温や与薬、清拭・リネン交換、食事介助、看護記録など、病棟で行われる業務の見学（一部介助）を行って、看護師の仕事の流れを理解。また、患者さんの気持ちや入院生活、看護師と他の医療職者との連携についても学びます。

4日目：グループ別発表会

実習グループに分かれて準備を行い、グループごとに実習の成果を発表。また、他グループの実習内容や感想を聞き、質問や意見交換などをしながら成果を共有します。

兵庫医療大学（薬学部、看護学部、リハビリテーション学部）体験実習

実施場所は兵庫医科大学病院!!

1日目：オリエンテーション

プログラム内容の紹介、および、実習に際しての心構えや注意事項等について、兵庫医療大学で事前に説明を受けます。

2日目：病院説明・ガイダンス

兵庫医療大学には薬・看護・リハビリテーションの3学部があるため、この実習を通して、自らが目指す医療専門職のみならず、将来協働するかもしれない他の医療専門職についても同時に理解し、チームで働くことの重要性を実感します。病院概要紹介に加え、薬剤部、看護部、リハビリテーション部の施設や業務等について、各医療専門職者からそれぞれ説明を受けます。

3日目：病棟見学実習

実習にふさわしい身だしなみであるかチェックを受けた後、1グループ4～5人の3学部混成グループにて各病棟へ。病棟では、看護師の業務について教えてもらったり、入院患者さんと実際にコミュニケーションを取ったりします。

4日目：グループ別発表会

実習を回ったグループごとに、病院実習の成果を発表。他グループが発表したことに対して質疑し、積極的な意見交換も心がけます。

1年次 4学部合同チュートリアル（TBL形式）

実施場所は兵庫医療大学（神戸キャンパス）!!

病院見学とは別の日程で、2大学4学部が集まり、学部混成のグループに分かれて3日間合同で学びます。合同授業の流れは、高学年次に行う「チーム医療演習」（P 1 - 5参照）と同様に、自分と異なる学部生とともに、グループ試験やグループ内討議、発表準備そして発表に挑むというプログラムです。他学部生と共通の課題に取り組むことにより、疾患に対する考え方を多角的に理解します。

アイスブレーキング

グループ討議

発表準備

グループ発表

グループ優秀賞表彰

～こころと身体をつなぐ～
兵庫医科大学病院 精神科リエゾンチーム

チームの力

兵庫医科大学病院では、医療の向上を図るため8つの医療チームが活動中です。
今回は、その中から１チームをご紹介します！

「リエゾン」とは、フランス語で“つなぐ”を意味します。人のこころと身体はバラバラではなく、身体の調子が悪くなれば、こころは落ち込んだりイライラしたりします。また、こころが良い状態であると、身体の治療もスムーズに進むことが少なくありません。

しかし、専門家が専門領域の診断・治療を行うことが多い現代の医学は、「身体とこころのつながりに配慮した対応」をすることは、幾分か苦手だといわれています。

そこで兵庫医科大学病院では、救急病棟や内科病棟での精神的な問題に対応するため、精神科神経科の医師、リエゾン専門看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカー、作業療法士といったさまざまな職種で構成された「精神科リエゾンチーム」を平成24年10月に発足させました。

病棟の看護スタッフや主治医とカンファレンスを持ち、患者さんの身体とこころにどう対応すればいいか、薬物療法やリハビリ、退院後のサポート等について話し合い、必要なときには直接診察や心理療法などの各種療法、面談を行います。患者さんを取り巻くさまざまな問題をつなぎ、良い方向に向かっていくことがチームの目標です。

構成メンバー

精神科医師４名
リエゾン精神看護専門看護師１名
臨床心理士１名
作業療法士１名

兵庫医療大学のシンボル「ふくろう」に込められた想い

知ってる？ 兵庫医療大学
学校法人兵庫医科大学の“すごい”や“隠れた魅力”をご紹介します！

兵庫医療大学のキャンパスを訪れたことがある方は、きっと目にしたことのある「ふくろう」。なぜ「ふくろう」がシンボルであるのか、皆さんはご存じですか？

ふくろうは、ギリシャ神話で“学問・知恵の女神 アテナ”の象徴であるとされ、ヨーロッパでは“学問の神様”と崇められることもある動物です。兵庫医療大学に集う学生が、学問と真摯に向き合い、多くのことを学び、確かな医療技術を身に付けることができるようにとの願いを込めて、開学時からふくろうをシンボル化しました。

学内には、P棟北館のステンドグラスや噴水など、ふくろうを模したアートがあるほか、大学祭の名称“海梟祭”にもその文字が使われています。

ステンドグラスのデザイン・制作は、業界でも著名な三浦啓子先生によるもの。
新家荘平理事長のご友人であるというご縁から、制作を依頼することになったそう！

噴水“梟のいずみ”

キャンパスの中央に在る噴水“梟のいずみ”。
中心には、ポーズも向きも異なる３羽のふくろうが並び、学校法人 兵庫医科大学の建学の精神を表現しています。

・「人間への幅広い科学的理解」の必要性に　“気づく”
・「人間への深い愛」を師や学友との交流を通じて　“学ぶ”
・「社会の福祉への奉仕」を標榜し、実践の場へ　“羽ばたく”

CLUB 課外活動紹介

柔道部が第６７回西医体で女子個人戦 優勝、男子団体戦 ベスト８に！

兵庫医科大学

平成２７年度 第６７回西日本医科学生総合体育大会が行われ、柔道部が女子個人戦で優勝、男子団体戦 決勝トーナメントでベスト８という好成績を収めました。

柔道部

ヨット部

バスケットボール部

西医体 柔道部 女子個人戦 優勝者コメント
3年次 熊本 友子さん

「ご多忙の中来て下さった先生やOBの方々の応援の元、優勝できて一安心です。関西圏柔道部は仲がよく、他大学の方からも応援をもらい選手冥利に尽きる一日でした。来年の西医体では兼部しているゴルフ部とのダブル入賞が目標です」

～西医体 そのほかの結果～

・バスケットボール部（男子団体戦）ベスト８
・陸上競技部（女子８００m）３位入賞
・ヨット部（スナイプ級）２位入賞
・ヨット部（総合）４位入賞

女子バスケットボール部が全日本薬学生バスケットボール選手権大会で3位に！

兵庫医療大学

平成２７年8月12日から15日まで、平成27年度全日本薬学生バスケットボール選手権大会が新潟県で行われ、本学 女子バスケットボール部が3位という好成績を収めました。

その他の団体も活躍しています！

8/11～8/15
第69回関西薬学生バドミントン大会　女子団体　3位

8/24～8/26
第69回関西薬学生卓球大会　寺池 巧真さん　優勝

PICK UP

女子バスケットボール部インタビュー

「準決勝でこの大会の優勝校に惜しくも3点差で敗れましたが、次の3位決定戦をしっかりと勝つことができて良かったです。結果はもちろん、5日間の遠征となったことで長期間メンバーが一緒に過ごすことができ、団結がさらに深まった気がします。春の石神杯で優勝し、この大会も優勝を狙っていたので残念ですが、来年こそは優勝できるよう、学業と両立させながら練習を頑張っていきたいと思います」

※兵庫医療大学ホームページのキャンパスブログでもインタビュー内容を詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください！

就任関連

中医薬孔子学院 中国側学院長（副学院長）就任挨拶

中国側学院長
（副学院長）
梁（りょう） 永宣（えいせん）

学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院初代副学院長の後任として、協定を結ぶ北京中医薬大学から孔子学院本部を通じて派遣されました。「中医薬」に特化した本学院で活躍できますことをとても光栄に存じます。

中日文化交流の長い歴史の中で、両国民はお互いに学び合い、共に発展してきました。中国後漢時代の名医張仲景が考案した漢方処方は、今でも日本国民の健康を守り、日本の医療保険に応用されています。また、中国医学の多くの書物は日本で保存され、伝統医学伝承の役割を果たしています。

本学院が、中日両国の文化・中医学交流の懸け橋となるだけではなく、東方文化を伝播し、さらに素晴らしい功績を構築できるよう、私は全力を尽くしたいと考えております。

本学院のますますの発展と中日両国民の健康福祉に貢献できるよう、一緒に努力いたしましょう。

兵庫医療大学 看護学部 教授就任（10月1日）挨拶

看護学部 教授
西村 明子

このたび、母性看護学の教授を拝命いたしました。私は、兵庫医療大学が開学した年に着任し、学生と教職員が一緒になって新しい大学をつくる経験をさせていただきました。一期生も社会人５年目となり、今後は、卒業生のキャリアアップにもつながる魅力ある大学づくりに貢献したいと考えております。

母性看護学は、周産期を中心に女性の生涯の健康を支える学問領域ですが、私は父親に注目し、約１割の父親が産後うつ状態であり、夫婦関係の悪さと関連があることを発見しました。今後も夫婦を一単位として母性看護学領域の研究に取り組み、教育に活かして参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

緑樹会

緑樹会（兵庫医科大学同窓会）会長は、石藏礼一会長の再任となりました。

理事・評議員の異動

次の通り理事・評議員の異動がありました。

評議員		
選任（Ｈ２７．０８．０１）	一般社団法人 兵庫県理学療法士会 会長	岩井 信彦
人事異動に伴う辞任	一般社団法人 兵庫県理学療法士会 前会長	樗平 司

おめでとうございます ―表彰および受賞紹介―

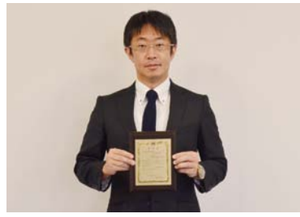
兵庫医科大学 平成２６年度 ベストティーチャー賞・教員学術賞・大学院生学術賞 授与

平成２７年９月３日の教授会にて「平成２６年度ベストティーチャー賞」「教員学術賞」「大学院生学術賞」の表彰が行われ、受賞者には、中西学長から賞状（盾）と副賞などが手渡されました。

●ベストティーチャー賞

この賞は、学生の無記名アンケートによって決定されるもので、各年度の年間カリキュラム終了後に実施しています。第１～第４学年次は授業担当教員別に、第５学年次は臨床実習の科別にアンケートを行います。平成２６年度は次の評価上位者の４名と２部門が選ばれました。今年度もより良い教育を提供できるよう、教職員一同、気持ちを新たに取り組んで参ります。

第１学年次　大門 貴志 教授〔医療統計学〕
第２学年次　内山 良介 講師〔病原微生物学〕
第３学年次　松永 寿人 主任教授〔精神科神経科学〕
第４学年次　小谷 穣治 主任教授〔救急・災害医学〕
第５学年次（臨床実習）
　クリクラ部門　総合内科
　ポリクリ部門　小児科



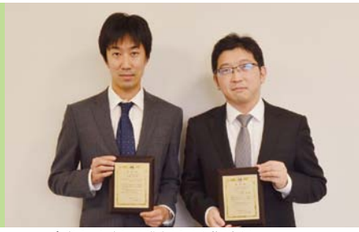
第1学年次ベストティーチャー賞
大門 教授

●教員学術賞、大学院生学術賞

この賞は、教員と大学院生を対象に優れた学術的研究を行った者に対して贈られる賞です。

- 教員学術賞
  近藤 隆 助教〔内科学 消化管科〕
  松下 一史 講師〔先端医学研究所 アレルギー疾患研究部門〕
- 大学院生学術賞
  巽 恵美子〔医科学専攻 高次神経制御系 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学〕
  吉川 恭平〔医科学専攻 器官・代謝制御系 口腔科学〕

教員学術賞



受賞した松下講師と近藤助教

大学院生学術賞

受賞した巽先生と吉川先生

各賞受賞

■ 兵庫医科大学

第８０回JSICR 第１２回奨励賞（アレルギー疾患研究部門）
受賞者：松下 一史 講師

■ 兵庫医療大学

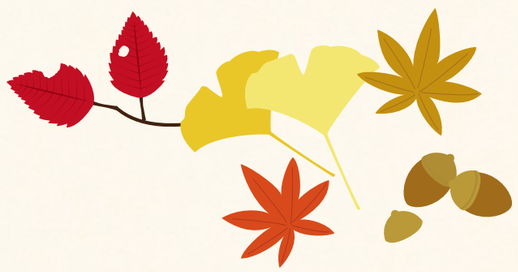
日本地域看護学会「奨励論文賞」
受賞者：看護学部 土井 有羽子 准教授
受賞研究：「生活機能評価を受診した女性高齢者における自宅内転倒者の実態とその要因」

■ 兵庫医科大学病院

一般社団法人 日本運動器科学会「学会奨励賞」
受賞者：リハビリテーション部 理学療法士 瀬戸川 啓

人事情報　人事部より7月～9月に公表された、次長相当以上の役職者の人事情報を掲載しています。

人事情報につきましては
WEB上では割愛させていただきます



皆様からのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

兵庫医科大学開学４０周年記念事業募金

（募金推進課）H24.7.1～H27.9.15

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	193	1,149,935,000	506	305,685,446	699	1,455,620,446
入　金	192	1,015,715,000	504	271,581,746	696	1,287,296,746

寄付申込者ご芳名・法人名一覧　H24.6.16～H27.9.15

〔企業等法人〕（2社）

●ご芳名のみ　1社

ｼｰﾒﾝｽ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ株式会社 様

（匿名１社）

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（4名）

●ご芳名・金額記載　2名

兵庫医科大学後援会 様　30,000,000円
勝田 修弘 様　5,000,000円

（匿名2名）

〔役員・教職員等〕（17名）

●ご芳名・金額記載　1名

新村 健 様　500,000円

●ご芳名のみ　9名

飯尾 祐加 様
石藏 礼一 様
魚崎 須美 様
垣花 美智子 様
木村 卓 様
戴 毅 様
濵田 真実 様
廣田 省三 様
前田 勝彦 様　（匿名７名）

学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

（募金推進課）H21. 7. 1～　H27.9.15

区　分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合　計	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
申　込	288	61,355,000	1,098	84,085,498	1,386	145,440,498
入　金	288	61,355,000	1,091	83,635,498	1,379	144,990,498

寄付申込者ご芳名・法人名一覧　H27. 6.16～　H27. 9.15

〔企業等法人〕（7社）

●ご芳名・金額記載　3社

株式会社ｴｲﾁ･ｱｲ 様　500,000 円
株式会社ﾏﾙﾀﾏﾌｰｽﾞ 様　500,000 円
有限会社ｴｲﾁ･ｱｲ･ｻｰﾋﾞｽ 様　100,000 円

●ご芳名のみ　2社

ｱﾙﾌﾚｯｻ株式会社 様
鹿島建物総合管理株式会社関西支社 様

（匿名 2社）

〔役員・教職員等〕（2名）

●ご芳名のみ　2名

松本 順司 様
森田 泰夫 様

〔緑樹会・後援会・その他個人〕（51名）

●ご芳名・金額記載　9名

飯田 美奈子 様　50,000 円
泉 政和 様　500,000 円
大浦 明子 様　500,000 円
大西 誠 様　50,000 円
角井 義夫 様　50,000 円
佐々木 宏 様　50,000 円
佐藤 加津子 様　500,000 円
中田 明子 様　50,000 円
中村 仁 様　50,000 円

●ご芳名のみ　21名

石田 園治 様
石田 二三子 様
日下部 管子 様
日下部 昇 様
黒田 順 様
黒田 佳治 様
小松 健男 様
坂本 惠美子 様
辰巳 藏之助 様
玉木 明美 様
玉木 桜子 様
玉木 真澄 様
利川 在賢 様
福谷 和明 様
藤井 揚子 様
古川 孝行 様
古川 真佐子 様
松田 昂大 様
松本 洋子 様
柳 孝代 様
吉岡 紀雄 様

（匿名 21名）

報道機関への出演・掲載

本学の取り組みや医療関連業務、医師等に対する取材、報道機関への出演・掲載情報をお知らせします。

新聞・雑誌等 出演情報　７月から９月

掲載媒体	掲載日	関連者	概要
毎日新聞（朝刊）	7月7日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 森沢 知之 講師	「キャンパス通信ポーアイ4大学連携講座」コーナーにて、「身体活動量」と題し、地域全体での健康寿命の延伸などについて寄稿した内容が掲載されました。
神戸新聞（朝刊）	7月11日	整形外科 吉矢 晋一 主任教授	「ひょうごの医療」コーナーにて、変形性膝関節症の症状や治療法について解説した内容が掲載されました。また、同科の奥野 真起子病院助手のコメントも掲載されました。
毎日新聞（朝刊）	7月14日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 宮本 俊朗 講師	「キャンパス通信ポーアイ4大学連携講座」コーナーにて、「なぜ筋肉が重要か」と題し、筋肉の衰えによる身体への影響などについて寄稿した内容が掲載されました。
朝日新聞（朝刊）	7月15日	小児科 服部 益治 教授	熱中症に関する記事にて、高齢者の暑さ対策などについて解説した内容が掲載されました。
産経新聞（夕刊）	7月24日	総合診療内科 新村 健 主任教授	カロリー制限に関する記事にて、年齢や健康状態との関係などについて解説した内容が掲載されました。
毎日新聞（朝刊）	7月28日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 松井 徳造 教授	「キャンパス通信ポーアイ4大学連携講座」コーナーにて、「職場のうつ病」と題し、職場復帰に向けたうつ病の復職支援などについて寄稿した内容が掲載されました。
読売新聞（朝刊）	8月2日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(看護外来)において治療実績(2014年)が掲載されました。
毎日新聞（朝刊）・神戸新聞（朝刊）・丹波新聞（朝刊）	8月3日・9日・10日	ささやま医療センター	丹波地域で初めて「回復期リハビリテーション病棟」を設置した病院として紹介されました。
毎日新聞（朝刊）	8月4日	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 有吉 正則 講師	「キャンパス通信ポーアイ4大学連携講座」コーナーにて、「障がい児童の支援」と題し、教員と作業療法士の連携の重要性などについて寄稿した内容が掲載されました。
神戸新聞（朝刊）・毎日新聞（朝刊）・読売新聞（朝刊）	8月6日・9日	兵庫医科大学 免疫学 善本 知広 主任教授	PM2.5とアレルギー性鼻炎悪化の関係について発表した内容が掲載されました。
毎日新聞折込み（奥様メモ・カレンダー）	8月25日	糖尿病・内分泌・代謝内科 森脇 優司 教授	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて監修を行った「健康診断を終えたら、はじめどき！診断結果から考えるからだ改善計画！vol.9【尿酸値が高い】」と題された記事が掲載されました。
日本産業新聞	8月26日	兵庫医科大学病院	兵庫医科大学病院 脳神経外科に導入した遠隔医療ロボットが紹介されました。
丹波新聞	8月27日	ささやま老人保健施設	ささやま老人保健施設で開催された「第16回納涼祭」について掲載されました。
神戸新聞（朝刊）	8月31日	上部消化管外科 笹子 三津留 主任教授	胃がんの検査や治療について解説した内容が掲載されました。
神戸新聞（朝刊）・毎日新聞（朝刊）・読売新聞（朝刊）・産経新聞（朝刊）・朝日新聞（朝刊）	9月1日・2日・15日	兵庫医科大学 生理学 生体機能部門 越久 仁敬 主任教授	脳卒中などが原因で起こる嚥下障害に対する新たな治療法ついて発表した内容が掲載されました。
茨城新聞（朝刊）	9月2日	救命救急センター 久保山 一敏 講師	茨城県で行われた広域搬送訓練について、航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)の本部長として参加してコメントした内容が掲載されました。
読売新聞（朝刊）	9月6日	兵庫医科大学病院	「病院の実力」(がん診療連携拠点病院の年間実績）において、治療実績(2013年)が掲載されました。
産経新聞（朝刊）	9月13日	兵庫医療大学 看護学部 神﨑 初美 教授	9月12日に兵庫医療大学で開催した「急病・災害時に自助共助でご近所の底力を発揮するためのノウハウ」と題した公開講座の様子と、看護学部の神﨑初美教授のコメントが掲載されました。
神戸新聞（朝刊）	9月17日	総合診療科 新村 健 主任教授	兵庫医科大学、兵庫医療大学、ささやま医療センターのグループが行っている、要介護状態になる前の「フレイル」に関する研究について紹介した内容が掲載されました。
朝日新聞（朝刊）	9月22日	消化管内科 三輪 洋人 主任教授	胃食道逆流症の症状や治療などについて、兵庫医科大学病院 消化管内科の三輪洋人主任教授が解説した内容が掲載されました。
毎日新聞折込み（奥様メモ・カレンダー）	9月25日	整形外科 圓尾 圭史 助教	「保存版 健康質問箱」のコーナーにて、圓尾助教が監修を行った「健康診断を終えたら、はじめどき！診断結果から考えるからだ改善計画！vol.10【骨密度の低下】」と題された記事が掲載されました。
毎日新聞（朝刊）	9月29日	兵庫医療大学 看護学部 岡田 公江 准教授	「キャンパス通信ポーアイ4大学連携講座」コーナーにて、「低栄養 胎児に悪影響」と題し、母体の栄養状態と胎児の成長の関係などについて寄稿した内容が掲載されました。

テレビ・ラジオ出演情報　７月から９月

放送局	番組	放送日	関連者	概要
朝日放送	たけしの健康エンターテイメント！みんなの家庭の医学	7月7日	消化管内科 三輪 洋人 主任教授	胃痛に関する特集にて、昆布の成分「アルギン酸」と胃痛予防の関係や、自律神経の乱れによる胃痛「機能性ディスペプシア」のための、「自律神経を整える呼吸法」などについてスタジオで解説した内容が放送されました。
NHK総合	ニュース神戸発	7月21日	小児科 服部 益治 教授	熱中症に関する特集にて、高齢者でも簡単にできる熱中症対策などについて解説した内容が放送されました。
読売テレビ	かんさい情報ネットten	7月21日	皮膚科 夏秋 優 准教授	虫刺されに関する特集にて、蚊に刺された時の症状や、刺されないための対策などについて解説した内容が放送されました。
朝日放送	おはよう朝日です	7月21日	皮膚科 夏秋 優 准教授	虫刺されに関する特集にて、皮膚炎の原因となる虫、デング熱の症状、マダニやブユの生息地などについて解説した内容が放送されました。
朝日放送	キャスト	8月5日	小児科 服部 益治 教授	怖さを感じると寒くなる原理について解説した内容が放送されました。
毎日放送	ニュース	8月5日	兵庫医科大学 免疫学 善本 知広 主任教授	PM2.5と鼻炎悪化の関係について発表した内容が放送されました。
テレビ朝日	スーパーJチャンネル	8月10日	小児科 服部 益治 教授	帰省シーズンの車内の脱水症と熱中症について解説した内容が放送されました。
朝日放送	おはよう朝日です	8月11日	小児科 服部 益治 教授	熱中症の危険や対策についてスタジオで解説した内容が放送されました。
日本テレビ	news every	8月12日	小児科 服部 益治 教授	帰省の渋滞中の車中の過ごし方に関して、脱水症の注意点などについて解説した内容が放送されました。
ABCラジオ	健やかライフ	8月31日～9月4日	冠疾患科 石原 正治 主任教授	脂質異常症について解説した内容が放送されました。
サンテレビ	「ニュース」	9月18日	兵庫医科大学病院	兵庫医科大学病院で行った防災訓練の様子が放送されました。
NHK Eテレ・総合	「きょうの健康」	9月22日	眼科 三村 治 主任教授	眼けん下垂についてスタジオで解説した内容が放送されました。
毎日放送	「ちちんぷいぷい」	9月25日	小児科 服部 益治 教授	インフルエンザ予防のための新型ワクチンについて、スタジオで解説した内容が放送されました。

本学ホームページにも最新情報を掲載しています！　兵庫医大　広報　テレビ放送　検索　兵庫医大　広報　新聞掲載　検索

教職員の皆さんへ

広報課では法人全体の報道機関などへの出演・掲載を把握し、ホームページや広報誌を通して皆様にご案内させていただいております。
報道機関等から、広報課を介さずに取材依頼や掲載許諾があった場合は広報課へご連絡ください。

個人情報の紛失について（お詫び）

平成27年9月24日付で報道発表させていただきましたとおり、平成27年4月1日から6月30日までの間に糖尿病・内分泌・代謝内科を受診されました患者さまの個人情報が入ったＵＳＢメモリー（電子記録媒体）１個を紛失いたしました。

兵庫医科大学病院では、患者さまからのご意見等を厳粛に受け止め、今後のさらなる管理体制強化に向けて、下記のとおり職員教育を中心に取組むこととといたしました。これに伴い、先ず個人情報の取扱いについて、10月9日（金）、病院職員を対象に、病院長が再発防止に向けて、より厳格な指導を行いました。このたびの個人情報の紛失に関連して、ご心配、ご迷惑をおかけいたしました患者さま並びに関係各位には、改めまして心よりお詫び申し上げます。

記

■管理体制強化に向けての主な取り組み

①ＵＳＢメモリー等の電子記録媒体に個人情報を記録する場合、第三者には個人情報が特定できないようにする。（データファイルの暗号化）
②個人情報が記録された電子記録媒体については、各部署で決められた場所に保管するよう周知徹底する。その他、本学の個人情報保護規程に定められた内容を併せて周知徹底する。
③個人情報が記録された電子記録媒体の使用については、使用、返却等の記録（台帳管理）を必ず行う。
④個人情報に関する管理体制組織図（各部署の管理担当者等の氏名とその役割を明記）を作成し、同組織図は各部署の職員の目につきやすい場所に常時掲示する。
⑤個人情報に関する管理体制については、学校法人の個人情報監査役による月１回の点検を実施する。
⑥個人情報の取扱いに関してさらに職員教育を徹底するため、毎年4月の新入職者に対する教育に加えて、今後、次のことを行う。
　1）全教職員を対象にした個人情報に関する講演会を、年1回以上実施する。本年は、11月9日（月）に外部講師を招聘して行う。
　2）職員教育の一環として、「個人情報取扱チェックシート」を作成し、各部署に定期的（4月と10月の年2回）に配布し、職員の個人情報の取扱いに関する認識の維持・強化を図る。

なお、当該紛失者および上司に対しては、懲戒処分を行いました。

以上

11月～1月 主な行事予定

11月

10月19日～11月17日	兵庫医療大学	ナレッジキャピタル“ＡｃｔｉｖｅＬａｂ”内「大学都市ＫＯＢＥ！ 発信プロジェクト」ブース展示
1日	兵庫医療大学	推薦入学試験（公募制Ａ日程）
3日	兵庫医療大学	推薦入学試験（専願公募制）
8日	兵庫医療大学	学術講演会「これからの『薬剤師活用法』～かかりつけ薬剤師の見つけ方～」神戸大学医学部附属病院 平井みどり先生×毎日放送アナウンサー 高井美紀さん
9日	兵庫医療大学	仕事研究セミナー（理学療法学科 対象）
15日	兵庫医療大学	入試説明会・相談会（広島）
	兵庫医科大学	推薦入学試験（一般公募制・地域指定制）
17日	ささやま医療センター	丹波圏域新型インフルエンザ対策実地訓練
18日	兵庫医科大学	市民健康講座「夜中の尿の悩み ～おねしょで起きない子供,頻尿で寝られない大人～」
21・22日	兵庫医科大学	大学祭※
22日	学校法人兵庫医科大学	森村先生 生誕100年メモリアル
	兵庫医療大学	入試対策講座＆大学見学会
23日	兵庫医療大学	入試説明会・相談会（岡山）
25日	ささやま医療センター	市民ふれあい健康講座
28日	兵庫医療大学	推薦入学試験（公募制Ｂ日程）

※11月21・22日に開催する大学祭（医聖祭）のメイン会場は、新教育研究棟の工事関係により「平成記念会館」となります。

12月

2日	兵庫医科大学	市民健康講座「逆流性食道炎ってどんな病気～最近の外科的治療～」
3・4日	兵庫医科大学	共用試験医学系CBT 本試験（4年次）
5日	兵庫医科大学	推薦入学試験合格者ガイダンス
6日	兵庫医療大学	薬学部４年次生対象薬学共用試験（ＯＳＣＥ）
7日	兵庫医科大学	実験動物慰霊祭
17日	兵庫医療大学	薬学部４年次生対象薬学共用試験（ＣＢＴ）
19日	兵庫医科大学	共用試験医学系OSCE 本試験（4年次）
	兵庫医科大学	クリスマスコンサート

1月

16・17日	兵庫医療大学	大学入試センター試験
20日	兵庫医科大学	一般入学試験＜第1次試験＞
27日	兵庫医科大学	レクチャーシップ「知の創造」
30・31日	兵庫医科大学	一般入学試験＜第２次試験＞
28日	兵庫医療大学	一般入学試験（前期Ａ日程）
29日	兵庫医療大学	一般入学試験（前期Ｂ・前期日程）

学校法人 兵庫医科大学 事業法人

株式会社 エイチ・アイ
有限会社 エイチ・アイ・サービス

大学・病院の事業拡大や
学生・教職員の福利厚生の充実を、
全力でサポートする会社です。

各種斡旋 ：不動産、家電製品、引越業者紹介、貸衣装他
保険設計 ： 団体扱自動車・火災保険、「学生総合補償制度」
生命保険「何でも相談」等々・・・
お気軽にお問い合わせください。

兵庫医科大学内
TEL：0798-45-6656 / 6673
http://hi-hyogo.com/hi.html
http://hi-hyogo.com/his.html

Benesse®

「西宮市」に7ホーム ベネッセの有料老人ホーム

ベネッセは、「自分や自分の家族がしてほしいサービスを提供する」という想いをすべての原点に兵庫県で19ホームを運営しています。

機能訓練指導員が常駐※1 リハビリ環境も充実したホームで、生き生きと健やかな日々を

リハビリホーム
グランダ 甲子園弐番館
（住宅型有料老人ホーム）
西宮市甲子園浜田町3-1
◎阪神本線「久寿川駅」より徒歩5分（約390m）

グランダ 門戸厄神
（住宅型有料老人ホーム）
西宮市林田町10-10
◎阪急今津線「門戸厄神駅」より徒歩6分（約440m）

グランダ 甲子園
西宮市若草町2-8-31
◎阪神本線「甲子園駅」より徒歩17分（約1,360m）

グランダ 夙川
西宮市雲井町8-26
◎阪急神戸線「夙川駅」より徒歩8分（約640m）

看護職員24時間常駐※2 メディカルホーム
グランダ 香櫨園
西宮市川添町9-8
◎阪神本線「香櫨園駅」より徒歩10分（約800m）

看護職員24時間常駐※2 メディカルホーム
くらら 甲子園
西宮市甲子園四番町8-22
◎阪神本線「甲子園駅」より徒歩12分（約940m）

まどか 武庫川
西宮市小松北町1-2-23
◎阪神本線「武庫川駅」より徒歩14分（約1,110m）

※1 非常勤職員2名配置。※2 職員体制（看護職員＋介護職員）/2.5:1以上［「メディカルホームくらら甲子園」は2:1以上］（週40時間換算）、夜間（22時～翌6時）最少時の体制：看護職員1名、介護職員3名（満床時）。

※「グランダ門戸厄神」「リハビリホームグランダ甲子園弐番館」は住宅型有料老人ホームです。自立から要介護5、認知症の方もご入居いただけます。要介護（要支援）認定を受けている方は、ケアプランに基づき、地域の介護保険サービスや当ホーム併設の弊社訪問介護事業所をご利用いただくことができます（介護サービスの費用は別途かかります）。その他の5ホームは介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）です。

【介護付有料老人ホーム（5ホーム）概要】■入居要件/入居時自立・要支援・要介護、契約時原則満65歳以上■居住の権利形態/利用権方式■利用料の支払方式/選択方式■居室区分/全室個室■職員体制（看護職員＋介護職員）/3:1以上［「グランダ甲子園」「メディカルホームグランダ香櫨園」は2.5:1以上、「メディカルホームくらら甲子園」は2:1以上］（週40時間換算）■兵庫県指定特定施設入居者生活介護、兵庫県指定介護予防特定施設入居者生活介護［「グランダ甲子園」は西宮市指定特定施設入居者生活介護、西宮市指定介護予防特定施設入居者生活介護。「メディカルホームくらら甲子園」は西宮市指定特定施設入居者生活介護、兵庫県指定介護予防特定施設入居者生活介護］【住宅型有料老人ホーム（2ホーム）概要】■入居要件/入居時自立・要支援・要介護、契約時原則満65歳以上■居住の権利形態/利用権方式■利用料の支払方式/選択方式■居室区分/全室個室

ホーム見学のご予約 資料請求は今すぐお電話で
ベネッセスタイルケア お客様窓口 0120-17-1165 受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日含む毎日）
◎お電話で、申込番号 Y5102599 とおっしゃってください。
ホームの詳細はWEB!! ベネッセの介護 関西 検索 http://kaigo.benesse-style-care.co.jp/kansai/
株式会社ベネッセスタイル ケア
〒163-0905 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリスビル
※記載情報は、2015年9月現在のものです。Y5102599

The Parkhouse ザ・パークハウス 甲子園若草町

暮らしに、いつも新しいよろこびを。 三菱地所レジデンス

※現地周辺航空写真（平成27年8月撮影）に光等CG処理を加えたもので、実際とは異なります。また、小学校につきましては、徒歩分数表示をしておりません。

三菱地所レジデンスが描く快適な全南向き、総27邸 資料請求受付中

予告広告

本広告を行い取引を開始するまでは、契約または予約の申込、ならびに申込順位の確保には応じられません。予めご了承ください。
●販売開始時期／平成28年5月下旬予定
■物件全体概要○名称／ザ・パークハウス 甲子園若草町○所在地（地番）／兵庫県西宮市若草町二丁目105番1○交通／阪神本線「甲子園」駅（東口）より徒歩16分、「鳴尾」駅（北改札口）より徒歩12分○総戸数／27戸○敷地面積／1,290.39㎡（売買対象面積）○建築面積／767.36㎡○延床面積／3,185.25㎡○構造・規模／鉄筋コンクリート造・地上5階建○用途地域／第1種中高層住居専用地域○建築確認済証番号／BCJ14大建確045号（平成26年12月19日）○駐車施設／（総戸数に対して）16台（他に来客用1台）○自転車置場／（総戸数に対して）54台○バイク置場／（総戸数に対して）1台○ミニバイク置場／（総戸数に対して）3台○分譲後の敷地の権利形態／専有面積割合による所有権の共有○管理形態／管理組合成立後、三菱地所コミュニティ株式会社に管理委託（予定）○建物完成／平成28年5月上旬予定○お引渡し／平成28年11月下旬予定○売主／三菱地所レジデンス株式会社 大阪支店：〒530-6015 大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー15階 国土交通大臣免許（14）第408号（一社）不動産協会会員（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟○設計・監理／株式会社IAO竹田設計○施工／株式会社銀治田工務店 ■予定販売住戸概要○販売戸数／未定○間取り／3LDK・4LDK○専有面積／75.14㎡～101.84㎡○バルコニー面積／7.00㎡～9.20㎡○販売価格／未定 ※上記概要は、供給予定の全住戸（27戸）の内容を表示しています。販売住戸を一括して販売するか、または数期に分けて販売するか確定しておりません。確定情報は物件ホームページにてご確認ください。

お問い合わせは「ザ・パークハウス 甲子園若草町」販売準備室
0120-898-243
www.mecsumai.com/tph-nishinomiya-w/
営業時間／10:00～17:30 定休日／土・日・祝日

The Parkhouse ザ・パークハウス 塚口町一丁目

■物件全体概要●名称／ザ・パークハウス 塚口町一丁目●所在地（地番）／兵庫県尼崎市塚口町一丁目9番7他3筆●交通／阪急神戸線「塚口」駅（北改札口）より徒歩4分●総戸数／48戸●敷地面積／1,826.25㎡（売買対象面積）●建築面積／888.41㎡●延床面積／4,077.42㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造・地上10階地下1階建●用途地域／第一種住居地域・準住居地域●建築確認済証番号／第ERI14029982号（平成26年8月18日）●駐車施設／総戸数に対して24台（平置8台・機械式16台）（月額使用料:14,000円～20,000円）●自転車置場／総戸数に対して96台（平面12台、2段ラック式84台）（月額使用料:100円～400円）●バイク置場／総戸数に対して2台（月額使用料:2,000円）●ミニバイク置場／総戸数に対して4台（月額使用料:1,000円）●インターネット利用料／1,674円（月額）●分譲後の敷地の権利形態／専有面積割合による所有権の共有●管理形態／管理組合成立後、三菱地所コミュニティ株式会社に管理委託●建物完成／平成28年1月下旬予定●お引渡し／平成28年3月中旬予定●売主／三菱地所レジデンス株式会社 大阪支店 〒530-6015 大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー15階〈国土交通大臣免許（14）第408号、（一社）不動産協会会員、（公社）首都圏不動産公正取引協議会加盟〉●設計・監理／株式会社水都設計●施工／名工建設株式会社■販売住戸概要●販売戸数／7戸●間取り／3LDK●専有面積／70.40㎡～75.04㎡●バルコニー面積／11.70㎡・11.84㎡●テラス面積／15.35㎡（月額使用料:110円）●販売価格／4,598万円～5,948万円●管理費／14,370円～15,310円（月額）●修繕積立金／5,640円～6,010円（月額）●修繕積立基金／633,600円～675,360円（引渡時一括）●管理準備金／14,370円～15,310円（引渡時一括）■販売スケジュール／先着順申込受付中 ※お申込の際は、認印と申込金10万円、平成25・26年分の収入が証明できる書類、本人確認書類をご持参ください。※先着順のためご希望の住戸が販売済の際はご容赦ください。●広告表示有効期限／平成27年11月30日●概要作成日／記載の概要は、平成27年10月16日現在のものです。※掲載の写真は、モデルルーム（Hタイプ・メニュープラン一部設計変更対応）を撮影（平成27年1月）したもので、エアコン・造作家具・照明・装飾用小物等オプション（有償）も含まれております。また、家具・調度品等は販売価格に含まれておりません。各種セレクト〔無償・有償〕・オプション〔有償〕には申込期限がございます。詳しくは係員にお尋ねください。

［売主］ 三菱地所レジデンス
お問い合わせは「ザ・パークハウス 塚口町一丁目」レジデンスギャラリー
FreeDial 0120-048-898 ◎営業時間／10:00～18:00 ◎定休日／水・木曜日（祝日を除く）
ザ・パークハウス 塚口町一丁目 検索

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

兵庫医科大学
兵庫医科大学病院

〒663-8501　兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6111（代）
http://www.hyo-med.ac.jp/（大学）
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/（病院）
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/（法人）

兵庫医療大学

〒650-8530　兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL:078-304-3000（代）
http://www.huhs.ac.jp/

兵庫医科大学
ささやま医療センター

〒669-2321　兵庫県篠山市黒岡5番地
TEL:079-552-1181（代）
http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

学校法人兵庫医科大学広報

発行月／2015年10月号・VOL.232
発行日／2015年10月25日
発行／学校法人兵庫医科大学 経営企画室 広報課